

綾町ユネスコエコパークにおける探究をベースとした ESD の実践

遠藤 晃

1. 背景・目的

エコパークにあるユネスコスクールは、ユネスコや文科省が ESD の推進拠点として位置付け、その成果は世界的に注目されている。また、ESD は今回の学習指導要領改訂における議論の基盤となり、思考と表現を重視する ESD の学び方・教え方が反映されている。重要なポイントは、ESD は単なる知識の習得ではなく、論理的な思考力、協調力、調整力、表現力など「総合的な学力」を向上させることであり、この「総合的な学力」が、持続的な社会の実現に不可欠となることである。同時に、学力向上の観点から、ESD の学び方・教え方は、より多くの学校に普及されることが望ましく、先進的役割をもつユネスコスクールは全国的にも注目されている。

本事業では ESD の学びに必要な「探究」に焦点を当て、綾町の児童・生徒の「探究」スキルについて、現状を把握するとともに、児童の探究スキル改善のための手法を探ることを目的とする。

2. プロジェクトの内容

- 1) エコパークの持続は、地域住民のエコパークに関する知識だけでなく、様々な主張のある中で問題を解決していく能力の向上が求められる。問題解決のためには、論理的な思考と行動を一致させることができる資質・能力の育成が不可欠であり、地域の保育・教育が系統的に取り組むことが重要となり、探究ベースの ESD が必要となる。
- 2) 探究は、課題設定、仮説、検証方法の検討、結果の考察など、問題解決のプロセスそのものであり、探究する力の育成を通して問題解決能力が向上することが期待できる。また、探究は新学習指導要領の学びの基盤であり、探究スキルの向上は「学力向上」に反映するとされ保育者・教育者の指導力が問われる (図 1)。



図1 ESDと学校教育の融合

- 3) 地域の持続可能性の中心に教育を据えることで綾町の ESD には多くの住民が関与でき、魅力的な教育 (ESD プログラム) が子育て世代の移住につながる可能性も考えられる (図 2)。

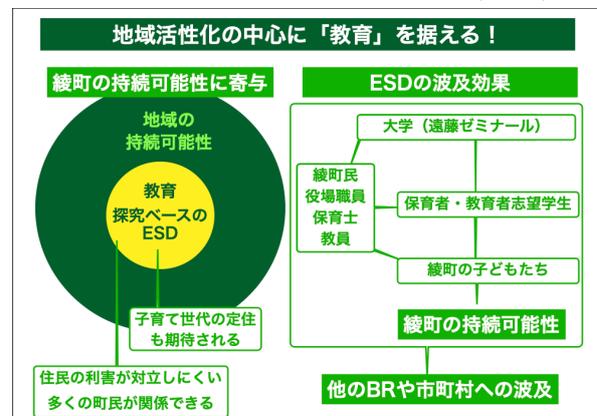


図2 ESDを核とした地域活性化

- 4) 本プロジェクトは大学が提供するプログラムで保育者・教育者をめざす学生が ESD を経験的に学びながら、その学生たちが考案した ESD プログラムで綾町の幼児・児童が学ぶことで、学生の経験・知識や指導力と、幼児・児童の探究力の向上を同時に目指す。また、役場職員を中心とした綾町民が ESD プログラムの提供に関与することで、綾 BR の ESD への理解と知識・スキルが横方向にも伝播し、綾町全体の ESD への意識・スキルの向上が期待できる

3. プロジェクト実施体制

- ・南九州大学人間発達学部子ども教育学科 理科教育研究室（遠藤ゼミ）：調査研究主体
- ・綾町教育委員会・綾町エコパークセンター：研究調査の調整・サポート、指導
- ・綾町立保育所・綾小学校：ESD の実践

4. 昨年度までの準備状況

2022年7月に綾エコパークセンターに於いて自由研究相談会を開催し親子2組が参加した。2023年2月18日に綾町文化ホールに於いて、カモシカに関する多様なステークホルダーがプレゼンと対談を行う地域連携公開講座「綾の森に学ぶSDGs」を開催し、3名の学生がカモシカ ESD プログラムのプラン（絵本、すごろく、総合的学習）を発表した（図3）。

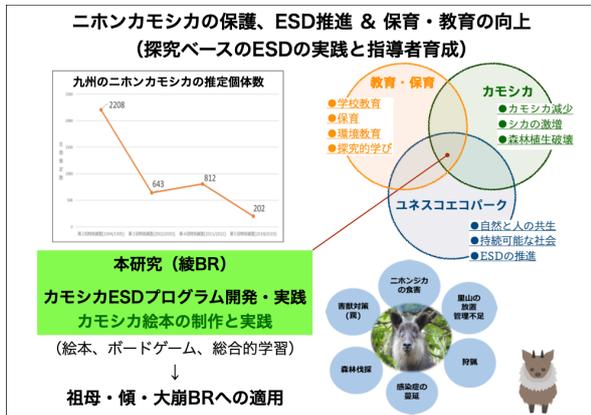


図3 カモシカ ESD プログラムの概要

5. 2023年度の成果

【方法・結果】

- 1)小学生向け夏休み自由研究相談会及び科学実験教室：

7月29日に自由研究相談会を実施したが参加者は0名であった。
- 2)カモシカ絵本の制作：素材・情報収集、絵本制作と保育実践

遠藤ゼミ4年の小川七海さんが、9～10月に綾町で取材をして、探究の導入に使うためのカモシカ ESD 絵本のプロトタイプを制作し（図4）、綾町立中坪保育所および南俣保育所で「絵本 de 対話」を実践した。実践中の幼児の発言や保育士の事後アンケートから、情報量の多さが課題としてあげられたため絵本の表現方法を見直した修正版を完成させた（図5）。



図4 カモシカ ESD 絵本プロトタイプ

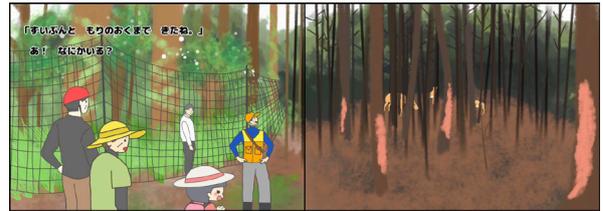


図5 カモシカ ESD 絵本修正版

3)小学校の総合的学習における「探究」の支援：

2024年1月12日に、綾小学校3年生の総合的な学習の時間に、修正版の絵本を使った小川七海さんの「絵本 de 対話」と遠藤のレクチャーをセットにした ESD プログラムを実践した。定量的なデータは取れなかったが、子どもたちとのやりとりや感想から、興味・関心は高まっていることがわかった。

4)プロジェクトのまとめと評価（高等教育コンソーシアム宮崎公募型卒論）

カモシカ ESD 絵本の実践は、2/27に宮崎大学で開催された高等教育コンソーシアム宮崎の公募型卒論テーマ成果報告会で、子ども教育学科4年生小川七海さんが「綾 BR における幼児を対象にした ESD の実践～地域の自然を活かした保育活動を通して～」を口演発表し、最優秀賞を受賞した（図6）。この活動は、MRT 宮崎放送および宮崎日日新聞でも SDGs の取り組み事例として取り上げられた。



図6 最優秀賞を受賞した小川さん（中央）